

20073

当院における IVUS の使用状況とデータ管理について

¹心臓血管研究所、²心臓血管研究所

高梨 賀江¹、矢嶋 純二²、及川 裕二²、相澤 忠範²

【目的】当院は年間PCI・PPIをあわせて約600件行っている。その際のIVUS使用率は約92%であり、PCI以外にFollow up CAGでもIVUSを施行している。IVUSデータはDVDに保存しているが、今回1年前のデータがメディアの不良により閲覧困難なことが判明したため、当院のIVUS使用状況を調べるとともに、今後のIVUSデータ管理について検討した。【方法】2011年度PCIにおけるIVUS機種別使用率とpull back数、全容量数、DVD保存枚数を算出した。IVUSデータがGood netサーバー上に保存可能な容量なのかを確認した。【結果】IVUSカテーテル別使用状況はRevolution 49%、Atlantis 30%、Eagle eye 16%、VISIONS PV 5%、TERUMO(WR) 1%であった。全IVUSにおけるPull back数のtotalは1932 run、全IVUS容量数は368.1 GB、DVD総数は118枚であり、うちメディア不良により通常の閲覧ソフトで使用不可能なものが1枚あったがデータの損失はなかった。当院のサーバー容量は3.15 TBであり、現在2.3TB使用していることからIVUSデータをネットワーク上に保存可能であると考えられた。【結語】メディア不良によるデータ損失のリスクを避けるためにはネットワークサーバー上にIVUSデータを保存することが良いと考えられるが、サーバー上のデータも消去する可能性はゼロではないため、DVDを含め複数のメディアで管理することが望ましいと考えられた。